

全学学類・専門学群代表者会議 第六回本会議 議事録

[日時]2021/1/27

[場所]Microsoft Teams

[出欠]出席 42 遅刻 0 早退 1

[議題]学生団体の活動に係る諸手続きのデジタル化に関して

[資料]

・2025_第六回本会議議事次第

・2026_学生団体の活動に係る諸手続きのデジタル化に関する提言

[会議の流れ]開会→資料確認→出席確認→議題説明→質疑応答→議決→委員会活動報告→閉会

開会

資料確認

出席確認

議題説明

◆浅賀(生物学類)

今回は学生団体の活動に係る諸手続きのデジタル化に関する提言というもので議案を提出する。最初の構想段階では学生が関わる様々な手続きに関して幅広くデジタル化に関する提言を出そうという構想だったのだが、想定より多くの部署に関係していることや、一つの提言では網羅しきれないことを踏まえて、今回学生団体の活動に係るものに限って提言を出すという形にした。タイトルや内容は学生団体に関わるもの中心になっているが、最後の部分で学生団体の活動以外に関することでもデジタル化を推進することを要するということは記載している。まず、はじめにということで「全学学類・専門学群代表者会議は、学生団体の活動に係る諸手続きのデジタル化の積極的な推進を提案する。」としている。その後、学生団体の諸手続きの現状、推進すべき背景、推進する意義、デジタル化への方策、そして結論という流れである。まず、手続きの現状から見ていく。かなり非効率的な紙ベースの手続きが未だに残ったままとなっており、様々な学生団体の方から改善してほしいとの要望を多く聞いている。次にデジタル化を推進すべき背景である。新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって人と人との接触を最大限に減らすようにということが求められている。こういう状況の今だからこそ、デジタル化を推進すべきであると考えている。そして現状の

項目でも述べているように、学生・事務組織双方に大きな負担がかかる手続きとなっている。また新型コロナウイルス感染症などを経て、世の中の流れがデジタルトランスフォーメーションを推進していこうという方向に変わってきている。特に2012年12月には政府が「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」というものを出し、デジタル化の遅れに対処することを明確に表明している。こうした背景もあり、本学においても様々な手続きのデジタル化を推進すべきであると考えている。続いて、手続きのデジタル化を推進する意義であるが、まず負担軽減・効率化が挙げられる。そして負担軽減・効率化ができればミスも軽減することができる。こうした2つの理由が手続きのデジタル化を推進する大きな意義であると考えている。実際にどのようにデジタル化を進めていくのかということについては主に2段階あると考えている。1つ目が既存システムの活用である。電子メールなどの既存システムを活用することで、ある程度は現状の問題点を解決することができると考えている。しかしそれだけでは不十分な点もある。電子メールでやりとりするだけでは、紙媒体からメールに変わっただけで非効率なままの手続きも残ってしまいかねない。そうした既存システムでは対応できない事項も含めてデジタル化を行う場合、新たなシステムの導入が必要になると考えている。例えば2020年6月より国立大学法人東北大学が事務の全面オンライン化を推進している。PDFの最後にリンクを掲載しているので興味がある方は見てほしい。最後に結論である。学生団体の活動に係る諸手続きは紙ベースのものがほとんどでそれに起因する問題も発生している。そうした現状や社会全般の流れを鑑み、積極的な事務手続きのデジタル化を要請するというものである。また本学の建学の理念にもあるように、変動する現代社会に不断に対応し、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能および運営の組織を開発していくことを強く望んでいる。説明は以上である。

質疑応答

◇伊藤(議長)

議題に関する質問意見等を受け付ける。

議決

◇伊藤(議長)

承認 40 保留 1 否認 0

よって本日の議題の成立を認める。

◆荒金

他の会議と被っており議題の説明をきちんと聴くことができていなかった。その状態で承認するのは無責任であり、一旦保留で投票し後で確認する方が良いと考えたため保留にした。

委員会報告

○議長団

- ・本会議は今回をもって終了となる。座長団の皆様の 1 つの大きな仕事として全代会で扱った議案に対する投票が様々にあったと思うが、今年度は今回で終わりになると思う。先週の本会議でも話したが、つくば市長との懇談会についての登録フォームが一般のチャンネルにあるので、ぜひ確認して日程が合う方や興味がある方は出席フォームに登録して出席していただければと思う。
- ・例年全代会では監察役を選出している。副学長決定の全代会の不信任というところに関わる役職であるが、来年度、全代会の座長団や専門委員に参加しない者で、全代会内部などから不信任案があった際にその取りまとめを行うという役職である。例年議長団経験者や委員長経験者に話を振り、選出している。これから、来年度の全代会座長団及び専門委員を続ける意思がないという者の中から監察役を募っていきたいと思う。監察役が決まり次第、一般のチャンネルにおいて報告するのでご了承いただきたい。

○総務委員会 事務部門

- ・今回の本会議の議事次第や資料の準備を行った。
- ・本会議の議事録作成を行っている。

○総務委員会 情報部門

- ・今週は今回の議題である「諸手続きのデジタル化」について準備を進めていた。

○学内行事委員会

- ・学園祭実行委員会から上がってきた今年度の報告書、決算書の赤入れを行った。修正の活動に進んでいく。
- ・財務関係においては、学類新歓援助金の申請の受付を開始した。
- ・学内行事委員会内での各担当の引継ぎ作業を行っている。

○教育環境委員会

- ・今週、先週は全代会ホームページの教育環境委員会のところを更新した。良かったら確認してみしてほしい。

○生活環境委員会

- ・本日の議題について総務情報と一緒に確認を行った。

○調査委員会

- ・生活環境委員会から依頼されていたベデストリアンデッキの報告書を完成させ、提出し

た。

- ・現在は教育環境委員会からもらった春から秋にかけてのオンライン授業に関する調査を実施中である。後日アンケートを全学向けに発信するので、数日経っても共有されない学類に関しては全大会の構成員に共有をお願いすると思う。

○広報委員会

- ・223号がそろそろ詰めに入るかという段階である。
- ・ホームページを作り、更新中である。

○新入生歓迎特別委員会

- ・先日開催した新歓ネットで新歓団体代表者様にLINE登録をお願いしていたが、先日全ての新歓団体代表者の登録を確認した。新歓団体に向けて紫峰会援助金の受付の開始や学生組織の説明が動画になること等を告知した。
- ・実委、スポデー、学実委、スポーツ学生委員、宿祭実行委員会に選出マニュアルの作成と説明動画の作成をお願いしている。

○渡邊(国際総合学類)

- ・今後の全大会活動の参考にするため、現在、来年度の活動に関するアンケートを行っている。数分で終わるので未回答の方は回答をお願いしたい。回答フォームは一般のチャンネルにある。

閉会

以上 総務委員会 川島夏実 作成